



衆議院議員（福岡 10 区選出）

| 2022.3 きいたかしレポート |

きいたかし

〒802-0071 北九州市小倉北区東篠崎 1-4-1-201 TEL.093-941-7767 FAX.093-941-5535
(ウェブサイト) http://www.kiitaka.net (メールアドレス) smail@kiitaka.net

きいたかし テレビ中継もされる衆議院予算委員会委員として総理や各大臣に直接質しました

北九州市の声を予算委員会で総理に質問



18歳以下の子ども給付金、受け取れていない子どもに全額国費で支給へ

きいたかしが岸田総理に質し、ついに政府が動きました。政府が全額国費で支給すると私の予算委員会での質問に山際新型コロナ担当大臣が答弁で明言しました。地方創生臨時交付金は使わず、全額国費で支給可能な自治体では早ければ2月にもとの国の準備を努力する旨答弁を確認しました。

新型コロナの影響を受けた国家試験受験者に追試験の機会をつくるべき

国家試験の追試験の実施を厚生労働大臣に何度も迫りました。コロナ禍に2年間さらされた、しかも医療介護を支える仕事を目指す受験生に感染確認があった場合でもワンチャンス作ってあげたいとの思いです。

提案が実り「濃厚接触者の待機期間」が見直しに

きいたかしから新型コロナの濃厚接触者の待機期間について最終接触日の基準明確化を求めていましたが、政府が新たな基準を発表、提案が実現しました。

雇用調整助成金の不正受給、約11億円の未返還が明らかに

きいたかしの質問がきっかけとなり、中小企業の生命線である雇用調整助成金は、不正受給が261件、約32億円あり、返還金が21億円、未返還が43件、約11億円もあったことが厚生労働大臣から初めて明らかになりました。厳しく対応いただくようお願いしました。

経済安保法案担当者の更迭、「対外的な意見発表」は国家機密漏えいにつながったのではないかと

本人を国会に呼べず、政府が調査中にて答弁を差し控える可能性はあると踏んでいましたので、機密情報の漏洩など国の安全に関わる事態に繋がりがかねない懸念点をこちらから根拠を示しながら丹念に提示し、確実な調査となるよう釘を刺しました。

新型コロナ対策、医療提供体制の拡充で救急搬送困難事象の解消を

新型コロナの死者数は最高値となり、入院できず自宅や高齢者施設で亡くなる方が相次ぐ現状への対応、特に急変時の医療アクセスの確保に向けた新たな手立てを取るよう強く訴えました。

北九州空港の滑走路延長の早期化、国道3号黒崎パイパスの建設促進、北九州港・関門航路の整備促進のための予算措置を

コロナ後の北九州市の経済振興を国政から支援するため、国による確実な予算措置を強く求めました。

衆議院議員 きいたかし

きいたかしが中心となって、党政務調査会長代行として | 2022.3 きいたかしレポート |

議員立法を提案しています



観光産業事業継続支援金法案

(2022年2月14日提出)

新型コロナ、オミクロン株の影響などによりGotoキャンペーンなど需要喚起策が使えない状況の長期化を鑑み、観光関連産業、取引先も含めて固定費の一部を支援してコロナ後に向けた事業継続をはかる手段を増やすのが狙いです。

離婚世帯子ども給付金支給法案

(2022年1月18日提出)

18歳以下への10万円相当の給付をめぐり受給できなかった去年9月以降に離婚した場合など、養育している保護者に給付金を支給する法案を提出。政府に方針転換を促し、全額国費支給を実現しました。

領域警備・海上保安体制強化法案

(2021年12月17日提出)

我が国周辺で中国公船などの活動が活発化している現状を踏まえて、領域警備の強化や海上保安体制の定期的な整備計画の策定を行うよう促すものです。国内治安維持を担当する海上保安庁を海上自衛隊がしっかりカバーして切れ目ない体制を作ります。

事業復活支援金倍増法案

(2022年1月31日提出)

事業復活支援金について、支給上限額を大幅に引き上げるとともに、令和4年度においても必要に応じて給付金が速やかに支給されるよう、財源を措置すること等を定められました。

子ども総合基本法案

(2022年3月1日提出)

子ども子育て予算を倍増させて、チルドレン・ファーストで子どもの権利を保障、子どもから若者まで切れ目のない支援を実現します。新たに子ども政策を一元的に担う新組織「子ども省」の新設や、子どもの権利を擁護する独立機関「子どもコミッショナー」の設立も提案しています。

コロナ特別給付金法案

(2021年11月11日提出)

低所得の住民税非課税世帯や新型コロナウイルス感染症により大幅に減収した世帯等に対して1人10万円を支給するというものです。生活困窮世帯に対して、1世帯に10万円ではなく、1人当たり10万円を支給する点が与党案と異なる部分です。

三人寄ればきいたかし

オンラインも含めて、皆様と対話をさせていただきますと思っています。ぜひお声がけをお願いします。事務所までご連絡いただけると幸いです。

衆議院議員きいたかし事務所

☎093-941-7767

新型コロナも含めて、お気軽にご相談ください



衆議院議員 きいたかし (城井 崇) のプロフィール
地元北九州で東奔西走。3子のパパとしても子育て奮闘中。

1973年(昭和48年)北九州市門司区生まれ。門司小、早稲中、門司高、北九州予備校(2浪)、京都大学卒。松下政経塾、前衆議院代議士秘書等を経て、03年衆院議員初当選。09、17、21年衆院議員で当選(現在4期目)。文部科学大臣政務官、衆院予算理事、文部科学委員等を歴任。現在、衆議院国土交通委員会理事、予算委員会委員、科学技術・イノベーション推進特別委員会委員等。党政務調査会長代行、党子ども子育てプロジェクトチーム座長、党福岡県連代表、党福岡県第10区総支部長。得意分野:教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物:ラーメン、焼肉、焼きカレー。

